Creative Enzymes®

ネイティブエリザベスキンギアメニンゴセプティカPNGase F

Cat. No. NATE-0601

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、ペプチド-N4-(N-アセチル-β-グルコサミニル)アスパラギンアミダーゼ (EC 3.5.1.52) は、N4-(アセチル-β-D-グルコサミニル)アスパラギン残基を切断する化学反□を触媒する酵素であり、グルコサミン残基はさらに糖鎖修飾される可能性があり、(置換) N-アセチル-β-D-グルコサミニルアミンとアスパラギン酸残基を含むペプチドを生成します。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特に線状アミドにおけるペプチド結合以外の炭素-窒素結合に作用するものです。
用途	タンパク質の脱糖鎖化に使用されます。プロテオミクスグレードのPNGase Fは、希薄なリン酸カリウムバッファーから広範に精製され、凍結乾燥されて安定した製品が得られています。この製品はグリセロールや他の安定剤を含まず、バッファー塩のレベルも非常に低いです。この高純度の材料は、ゲル、溶液、またはブロット膜上での糖タンパク質や糖ペプチドのN-結合脱糖鎖化に優れています。
別名	グリコペプチダーゼ N-グリコシダーゼ; グリコペプチダーゼ; N-オリゴ糖グリコペプチダーゼ; N-グリカナーゼ; グリコペプチダーゼ; ジャックビーングリコペプチダーゼ; PNGase A; PNGase F; グリコペプチダーゼ N-グリコシダーゼ; ペプチド-N4-(N-アセチル-β-グルコサミニル)アスパラギンアミダーゼ; EC 3.5.1.52; PNGase F; 83534-39-8

製品情報

由来	エリザベスキンギア・メニンゴセプティカ
EC番号	EC 3.5.1.52
CAS登□番号	83534-39-8
分子量	~36 kDa
純度	> 95% (SDS-PAGE)
最適pH	~8.6
単位定義	1ユニットは、37°C、pH 7.5でSDS-PAGEによってモニタリングされる条件下で、1ナノモルの□性リボヌクレアーゼBからN-結合オリゴ糖の放出を1分で触媒します。1 SigmaユニットのPNGase F活性は、1 IUBミリユニットに相当します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C